



県内各地から約400人が参加しました



JJA全農県本部運営委員会伊藤清孝会長⑤とのトークセッション

エリアニュース ココ color ソコ color TOPICS



12/16

JJA全農いわて

菊池雄星投手が特別講演



講演する菊池投手

「いわて純情米アンバサダーとの集い」が盛岡市で開かれました。米生産者とのつながりを深めるイベントとして企画され、県内から生産者やJJA役職員など約400人が参加しました。当日は「いわて純情米」アンバサダーを務める米大リーグ・エンゼルスの菊池雄星投手が「岩手から強くなるために」と題して特別講演をし、生い立ちや花巻東高時代のエピソード、プロ選手生活で大事にしていることなどを語りました。菊池投手は講演の中で「当たり前のことをやり続け、積み重ねていくのが大事。50歳までプロ選手でいることが目標で、仲間や岩手とのつながりを大事にし、人生という試合に勝ちたい」と話しました。この他、「食と農」をテーマとしたトークセッションも行われ、菊池投手がカロリーに配慮した米中心の食生活を送っていることなどが話されました。

「いわて純情米アンバサダーとの集い」が盛岡市で開かれました。米生産者とのつながりを深めるイベントとして企画され、県内から生産者やJJA役職員など約400人が参加しました。当日は「いわて純情米」アンバサダーを務める米大リーグ・エンゼルスの菊池雄星投手が「岩手から強くなるために」と題して特別講演をし、生い立ちや花巻東高時代のエピソード、プロ選手生活で大事にしていることなどを語りました。菊池投手は講演の中で「当たり前のことをやり続け、積み重ねていくのが大事。50歳までプロ選手でいることが目標で、仲間や岩手とのつながりを大事にし、人生という試合に勝ちたい」と話しました。この他、「食と農」をテーマとしたトークセッションも行われ、菊池投手がカロリーに配慮した米中心の食生活を送っていることなどが話されました。



園児20人は、JA藤沢青年部の指導でポップコーン作りを体験しました。園児たちはトウモロコシの実を外す作業を行い、熱が入ったトウモロコシと共に笑顔がはじけました。

12/12

黄海こども園（藤沢）

ポップコーンにわくわく



トウモロコシについて学ぶ園児

12/16

新沼保育園（藤沢）

ポップコーンおいしいね



木村さんの実演に見入る部員

12/10

JA女性部花泉中央支部老松支部
野菜ソムリエに料理学ぶ

料理教室を開きました。野菜ソムリエプロの木村千恵美さんが講師を務め、参加した部員9人は木村さんに教わりながら、「いわて南牛の生春巻き」など4品を作りました。

園児13人は、保育園で育てたトウモロコシでポップコーンを作りました。トウモロコシが育つ過程を振り返りながら、出来たてのポップコーンをおいしく味わいました。

実り豊かな新年を願つて 丸モ盛岡中央青果株式会社



高値を喜ぶJA佐藤一則組合長④とJAいちご生産部会の滝澤幸夫部会長



牛をトラックへ運び込む生産者

いわて南牛の令和8年初出荷式を開きました。式では生産者やJA関係者が玉串をささげ、上質な肉牛の生産と「いわて南牛」ブランドのさらなる知名度向上、高値販売を祈願しました。去勢9頭、雌3頭を東京食肉市場へ出荷し、1月9日に販売されました。

1/6

初出荷で高値販売を祈願 JA肥育牛部会

「いわて南牛」の精肉と「金色の風」の精米を添えました。

12/22

害虫防除の鍵は広い視点



病害虫防除のポイントを学んだ研修会

若手生産者研修会を開き、野菜や花卉、果樹の若手生産者や研修生約50人が参加しました。参加者は多角的な視点から病害虫防除に取り組む重要性を学びました。



表彰を受ける杉澤さん④

12/11

作文の部特選に杉澤さん JA共済連石手

第69回JA共済児童生徒作品コンクールの表彰式が開かれ、一関一高附属中学校1年の杉澤洋平さんが作文の部で特選を、東山中学校が特別賞を受賞しました。

12/11

初のアワードで大賞受賞 初のアワードで大賞受賞



受賞を喜ぶ佐々木さん

田に水を張らない節水型乾田直播栽培を行う全国の生産者を対象に行われた、第1回「節水栽培米グランプリ」で佐々木正樹さん(平泉)が大賞を受賞しました。

12/16

農業経営で金融を学ぼう 千厩高等学校



J A職員の指導を受け、お金や経営を学ぶ生徒

金融について学ぶ出前授業を受けました。農業経営のシミュレーションゲームを通してお金の使い方や農業経営について学び、自分の将来を考えるきっかけになりました。

12/25

健やかに楽しく過ごして JR東日本



渡部俊幸園長④にりんごジュースなどを手渡すJA佐藤一則組合長

児童養護施設一関藤の園へ、りんごジュースや取引市場から提供された果物などを贈り、施設で暮らす子どもたちが健やかに過ごすことを願いました。